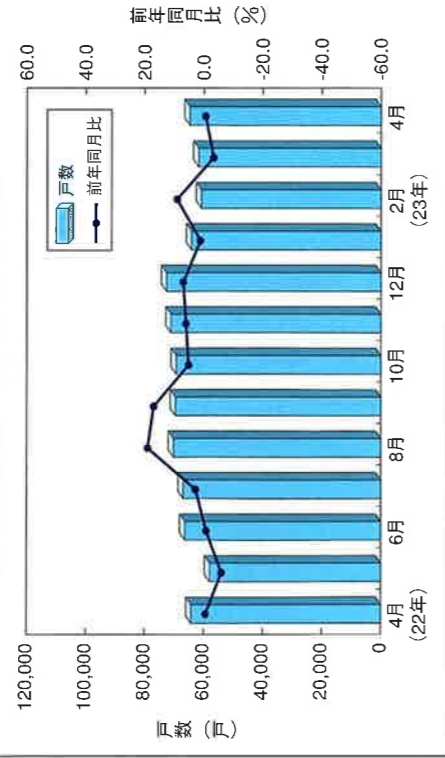


平成23年 住宅着工 4月

新設住宅（戸数・前年同月比）



合計
 24,816 (3.2)
 3,368 (6.4)
 4,343 (1.9)
 841 (-1.1)
 33,368 (3.2)
 66,757 (0.3)

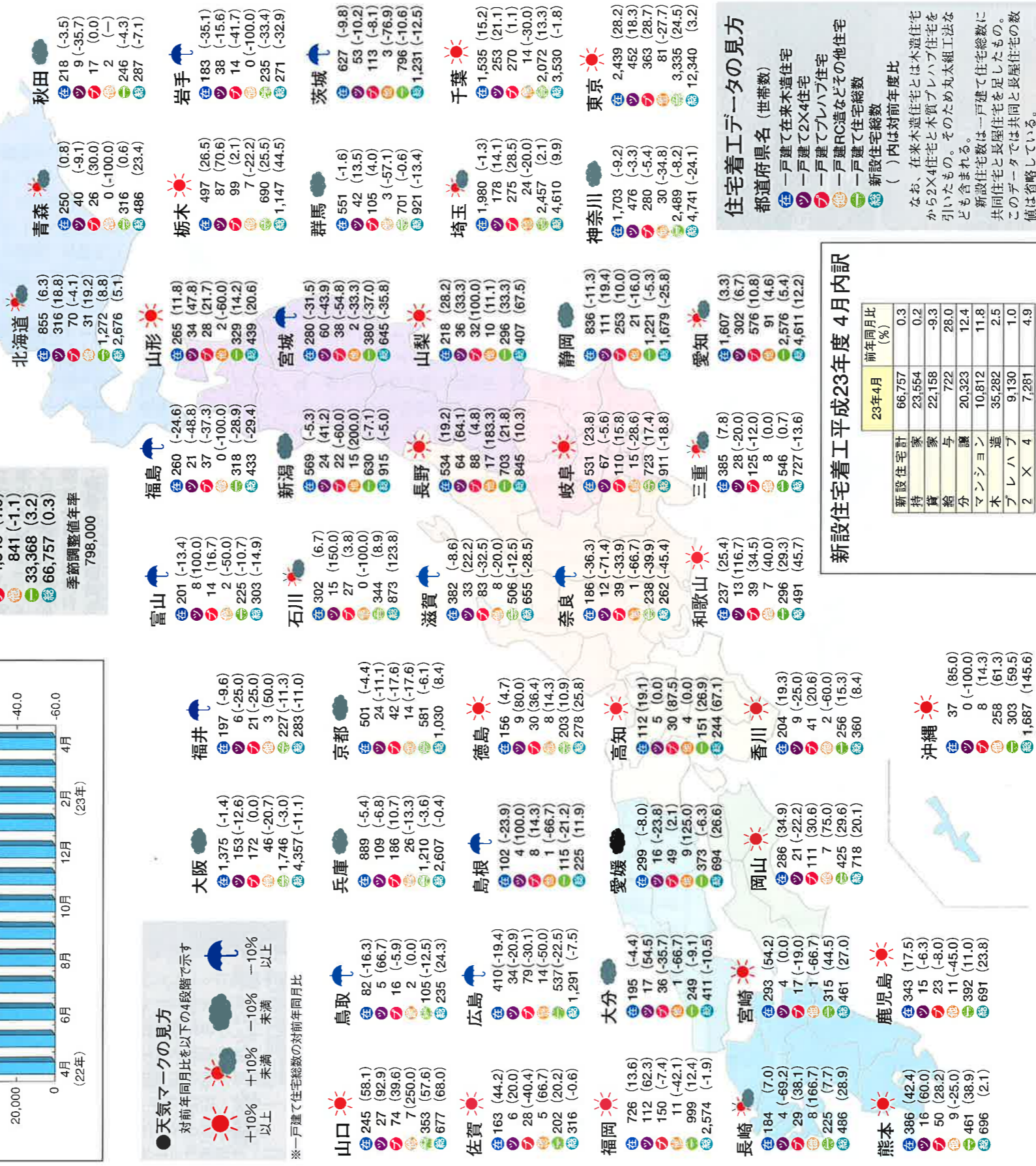
季節調整値年率
798,000

●天気マークの見方

対前年同月比を以下の4段階で示す

- ☀️ +10% 以上
- ☀️ +10% 未満
- ☁️ -10% 未満
- ☁️ -10% 以上

※一戸建て住宅総数の対前年同月比



住宅着工データの見方

- 都道府県名 (世帯数)
- 一戸建て在来木造住宅
- 一戸建て2X4住宅
- 一戸建てプレハブ住宅
- 一戸建てRC造などその他住宅
- 一戸建て住宅総数
- 新設住宅総数

()内は対前年同月比
 ※一戸建て住宅とは木造住宅から2X4住宅と木質プレハブ住宅を引いたもの。そのため丸太組工法なども含まれる。
 新設住宅総数は一戸建て住宅総数に共同住宅と長屋住宅を足したものの、このデータでは共同と長屋住宅の数は省略している。

新設住宅着工平成23年度 4月内訳

	23年4月	前年同月比 (%)
新設住宅計	66,757	0.3
持家	23,554	0.2
賃貸	22,158	-9.3
総戸数	722	28.0
分譲	20,323	12.4
マンション	10,812	11.8
木造	35,282	2.5
プレハブ	9,130	1.0
?	X	4
?	X	4.9

4月新設住宅着工戸数 年率9カ月ぶりに70万戸台に 持家季節調整値は4カ月連続で減

国土交通省が5月31日発表した4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比0.3%増の6万6757戸だった。2カ月ぶりに増加に転じたが、季節調整後の年率換算値は79.8万戸で前月から1.1%減少。9カ月ぶりに80万戸を下回る低水準となった。

利用関係別で見ると、持家は前年同月比0.2%増の2万3554戸。18カ月連続での増加となったが、季節調整値は前月に比べ5.9%減少し、28.3万戸と4カ月連続で減少。9カ月ぶりに30万戸を下回った。

分譲住宅は、一戸建てが9413戸で12.6%増、マンションも11.8%増と前月のマイナスからプラスに転じ、1万812戸と3カ月ぶりに1万戸台を回復した。

地域別では、東日本大震災の被害が大きかった岩手、宮城、福島を中心に被災地では大きく減少している。3大都市圏も3.8%減少した。

国土省は今後の動向について、「雇用・所得環境などの推移、東日本大震災の被害や復旧・復興状況が及ぼす影響を見極める必要がある」としている。

新設住宅着工	2011年3月年換算	80.7万戸	→ 2011年4月年換算	79.8万戸	1.1%減
2010年4月	6万5668戸	→ 2011年4月	6万5757戸	0.3%増	
2010年1月4月	25万3054戸	→ 2011年1月-4月	25万9137戸	2.4%増	
持家着工	2万3496戸	→ 2011年4月	2万3554戸	0.2%増	
2010年1月4月	8万7488戸	→ 2011年1月-4月	9万942戸	3.8%増	
戸建て分譲住宅着工	8363戸	→ 2011年4月	9413戸	12.6%増	
2010年1月4月	3万3377戸	→ 2011年1月-4月	3万7496戸	12.3%増	